

教科等研修会（中学校総合的な学習の時間部会）
令和6年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

生徒が主体的・創造的・協同的に取り組むことができる研究活動の在り方
～生徒一人ひとりが輝く「分かる・できる」「楽しい」授業づくりを通して～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	人数	場所	期日	人数	場所	期日	人数	場所
6月6日	9人	御船中学校	8月6日	7人	御船町恐竜博物館	9月24日	9人	嘉島中学校	2月4日	7人	御船中学校

3 研究の概要

(1) 研究の内容

第2回目の研修は御船町恐竜博物館で行い、「御船町恐竜博物館の取り組みと学校との連携」という題で、学芸員の方に講話をしていただいた。町の施設を総合的な学習の時間等でどのように活用できるか、集客のためにどのような工夫をされているかなどに興味を持ったからである。研修の流れは、以下の通りである。

- 1 博物館クイズ
- 2 御船町恐竜博物館の歩み～地域の変化～
- 3 取り組み～地域を元気にする活動～
- 4 学校との連携実績
- 5 質疑応答
- 6 展示室見学、博物館活用法の考案
- 7 博物館活用法のアイデア発表、感想記載

研修の中で、恐竜博物館は中学校の教育課程においてさまざまな利用例があるということを紹介された。

- ①総合的な学習の時間「地域について学ぶ」
- ②理科「身近な地形や地層、岩石の観察」
「地層の重なりと過去の様子」
「生物の種類と多様性の進化」
- ③その他「防災教育」など

また、博物館でできることとして、「体験プログラム」「学習プログラム」「野外活動」「講話」「講師派遣」「オンライン学習」「資料貸出」があるということだった。

(2) 成果と課題

【成果】博物館から距離のある中学校だと、「バスの手配や予算の確保が難しい」「時間割の調整が大変」「誰に相談すれば良いか分からない」などの悩みがあると考えられる。そのようなとき、講師が化石等を持参して講話や体験活動を行う「講師派遣」や化石の貸し出し、短時間でも気軽に利用できるオンラインでのゲストティーチャーなどを実施しており、過去の実例等をもとに提案してもらえるので、気軽に活用できるということが分かった。

【課題】各学校で、総合的な学習の時間の計画の定期的な見直しが必要である。今まで活用してきた施設や人材を引き継ぎつつ、恐竜博物館など新しく開拓することでさらに視野を広げることができる。「新しいことをするのは大変だ」「今までのままでよい」ではなく、「どうしたらできるだろう」と考えたり学芸員さんに相談したりすることが大切ということが分かった。

4 実践事例

(1)概要

第3回の研修で、嘉島中学校の平尾教諭が「令和6年度 3年生 未来創造学習」の取組を発表した。「子ども議会」とその前後の活動を総合的な学習の時間に行うという、とても興味深い内容であった。

(2)学習計画

1 目的

学校教育目標「夢を育み 主体的に未来を生きる 生徒の育成」の実現を図るために、①探求的な見方や考え方を働かせて、現在の嘉島町や実生活の中から課題を見つけ出し、②ふるさとで活躍する人の生き方に学び、③情報を整理・分析して、まとめ・表現する資質・能力を高める。

2 探求テーマ「未来の嘉島町づくり（こども議会）」

嘉島町の今を見つめ直し、未来の姿を思い描きながら町に提案することで、町民意識を育むとともに、意見交換を通じてリーダーシップとコミュニケーション能力を高める。また、ふるさとに誇りを持つ気持ちを醸成するとともに、未来の町づくりや、これからの自分自身の生き方や地域との関わり方について積極的に考えていこうとする態度を育てる。

3 学習計画：13時間扱い

段階	学習活動	教師側の準備等
	6月〇講師招聘等の事前準備 (嘉島町役場との連絡調整、嘉島町の都市計画等の情報収集、学習計画の作成)	
課題設定 (2h)	7月2日(火)⑤⑥ ・オリエンテーション(体育館：平尾) ・生活班ごとに調査内容の検討 (各教室：担任、副担任)	○学習の大まかな流れを説明 ○教室に帰り、嘉島町の未来について何を調べるかを検討 (タブレット、配布資料等)
調査取組 (2h)	7月4日(木)⑥(各教室：担任、副担任) 7月9日(火)⑤ ・都市計画の取組等の調査 ・意見集約と再調査	○事前調査等を基に、班で調査内容について個別、班で調べ、疑問点についてさらに調べたりしながら、町への提案内容を決める。 ○Web検索や本、資料を基に調査する。 ○資料やパソコンを使って、調査内容に沿った情報を集め、回答を出したり、更なる課題を見つけたりする。
学年意見交流会 (2h)	7月11日(木)⑤⑥ (各教室：担任、副担任) ・質問内容が同じグループ同士で集まり、質問書を発表し合う。 ・質問書を作成する班を決める。	○他班の意見の良いところ、疑問点などを出し合う。 ○意見をまとめて、嘉島中学校としての質問内容を決める。
質問書作成 (1h)	7月16日(火)⑥ (各教室：担任、副担任) ・質問書の清書を行う。	○役場の方々に伝わる内容、読みやすい文章になっているかを確認しながら取り組ませる。
	7月下旬 ・議長となる生徒を中心に、役場に赴き質問書を提出する。	
	夏休みの宿題として、質問内容について調査や再検討を個人で行う。	班からの質問について、個人で調査する。 ・地域の方に聞き取り調査 ・現地調査 ・ネットで詳細を調査
調査取組 (1h)	8月30日(金)(各教室：担任、副担任) ・質問について再検討と質問者決め	○答弁書を見て、質問書の再検討を行う。 (内容の精選と追加発言) ○質問をする生徒(議長役)を決める。

調査 取組 (1h)	9月3日(火)(各教室:担任、副担任) ・質問について再検討を行う。	○夏休み中に調査したこと、答弁書を基に、追加の質問を考える。
発表 練習 (1h)	9月6日(金)(各教室:担任、副担任) ・質問の練習を行う。	○質問者の発言の内容や話し方を班で指摘し合いながら練習する。
	9月11日(水)放課後(平尾先生等)	○議場で質問者と議長のリハーサル ○大会議場の椅子並べ
子ども 議会 (2h)	9月12日(木)⑤⑥ (役場議会場、大会議室:担任、副担任)	○議長、議員は議場で、その他の生徒は大会議出で映像を見ながら、議会に参加する。 ○保護者は議場の観覧席と大会議場に50名ほどの席を確保
振り返り (1h)	9月13日(金)⑥ (各教室:担任、副担任) ・振り返りをワークシートに記入する。	・これまでの調査、議会を振り返り、学んだことや議会について、感想を書く。

【当日の動き】

給食時に帰りの会を行う。
 13:20 役場への移動
 13:35 議場の見学
 13:50 大会議室入場、着席
 子ども議会 14:00～16:00
 16:00 学校への移動
 連絡後、下校

【議会のリハーサル】

9月11日(水)15:30～
 質問者と議長(15名)が参加
 引率者は山本先生と
 大会議室の椅子並べ

【役割分担】

議場での見守り(平尾先生)
 傍聴席(山本先生)
 大会議室(3年部職員)

【保護者の参観】

議場の傍聴席(15席;山本先生)
 大会議室(生徒の後方に30席)
 後日にHPでビデオを公開する予定

子ども議会での質問事項の例

- ①道路や交通関係 「道路の補修・整備等について」「交通手段についての提案」「街頭設置」
- ②学校や教育関係 「学校周辺に勉強できる場を設けることの提案」
「プール設備の学校の老朽化について」
- ③福祉関係 「シルバー人材雇用の強化の提案」
- ④スポーツ関係 「スポーツをする環境を整えることの提案」
「スポーツを通して地域交流を増やすことに関する提案」
- ⑤環境問題関係 「環境問題の改善についての提案」「緑を増やすことについての提案」
- ⑥町づくり関係 「通学路の街頭とお店の設置に関する提案」
- ⑦観光関係 「天然プールの有料化等についての提案」
- ⑧農業関係 「焼き畑の煙について」
- ⑨町の活性化関係 「水に関するイベントの提案について」

平尾教諭発表後に出た意見交換会の内容

・生徒一人ひとりが嘉島町民としての当事者意識を持ち、部会のテーマである「主体的・創造的・協同的」に取り組むことができていると感じた。
 ・自分の学校では、生徒会執行部の子どもたちを中心に子ども議会に参加している。そうなるとう一部の子どもたちだけの取組になってしまう。学年全体で総合的な学習の時間の一部として取り組んでいることが興味深かった。
 ・保護者の方も参加できるよう、丁寧に案内文を出されていた。子どもたちの学習の様子が分かるとともに、地域との連携もできて素晴らしいと思った。

- ・自分の身近な人たちにインタビューをすることで、コミュニケーション能力が養われるとともに、人の役に立っているという自己有用感が高まっていると感じた。
- ・事前に、彦根市のこども議会の様子を子どもたちに見せることで、こども議会のイメージが湧きやすいと思った。
- ・議会で意見するためには、単に要望を伝えるだけでなく、周囲と意見を交わしたり調査したりすることが大切であると実感できる学習であると思った。
- ・この学習を機会に「自分も意見を発表してみたい」と意欲が湧き、発表練習に力が入った生徒がいたと聞き、多くの生徒に活躍の場が与えられていると思った。堂々と発表できるよう、先生方が丁寧に指導されているという姿勢が感じられた。
- ・3年生の社会科で公民を学習するので、このような機会を得ることはとても有意義であると感じた。中学校と議場が近く、徒歩で移動しやすいという利点もある。距離的には近いが、議場に入るという経験はなかなかないので、政治に興味を持たせるという意味でもとても良いと感じた。将来、嘉島町のために力を尽くしたいという子どもたちが育つのを期待したい。